

Thank you!

学べるサプリ ふくしの心 体験した生徒の声

とても楽しかった!校舎もきれいだし、福祉のことが今まで勘違いしていたけどちゃんとした意味がわかってすごくよかった。

視覚障害者役の体験をして、見える範囲に限られると、それだけ不安も大きくなって怖かったです。だから、障害のある人を見かけたときも迷わずに助けになりたいです。

手話の大事さや視覚障害者役、援助役を実際にやってみたら思ったよりずっと大変でした。これからは福祉は自分には関係ないと思わず意識してこれからは活かそうと思いました。

視覚障害者目線になって物事を見れたり、手話を覚えて挨拶したりと、楽しかったです。また明成高等学校に行き、新しいことを学びたいと思いました。

福祉とは「すべての人々が幸せに生きる」ということを知り、今まで思っていた福祉と全く別のもの感じられるようになりました。

自分が障害者やお年寄りと同じ行動をすることで分かったことがいくつかあったのでその学んだことをこれからの生活に活かして行こうと思いました。

私は将来保育士になりたいと思っていて、福祉の仕事は昔から興味がありましたが、今日の話を聞いて福祉についてもっと知れたし、福祉が興味深いものだと思いました。

自分が普段、身体に障害がなく過ごしているのは、幸せなことなんだなと思いました。実際に初めての校舎を、目が見えない状態で歩くのはとても怖かったけど、援助者が頻りにコミュニケーションを取ってくれたり、道や景色を教えてくださいましたので、怖さが減って安心して歩くことができました。

福祉の先生方に、改めて福祉とは何かという質問に対して僕は、今まで障害者や高齢者だけにやるものだと思っていましたが福祉とは自分の将来に繋げられるものだと思いました。

ポディメカニクスでは、これはおいしいちゃんおばあちゃんに学んだことをいつかできるようにしたいと思いました。

すべての人が幸せにより良く生きるために、自分だけでなく常に相手の立場になって行動することの大切さが分かりました。特に視覚障害の体験では、相手を安心・安全に誘導することが大事だと分かりました。

仙台大学附属
明成高等学校
福祉未来創志科



お申し込みをお待ちしております!